

m は、 0、 1、 2、 3、 4 又は 5 であり；

V は、O、S、SO または SO₂ であり；

W は、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は (C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

X は、単環式、二環式又は三環式 (C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R₄ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は (C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

R₃ は、NH₂、NH (C₁ - C₄) - アルキル、N [(C₁ - C₄) - アルキル]₂、F、Cl、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は (C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R₄ は、F、Cl、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又は O - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良い]

の化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項 2】

R₁、R₂ は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、NH₂、NH (C₁ - C₄) - アルキル、N [(C₁ - C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃ 又は OCH₃ であり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

n は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

m は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

V は、O、S 又は SO であり；

W は、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は (C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

X は、単環式、二環式又は三環式 (C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアル

キル環は、R₄ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は (C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

R₃ は、NH₂、NH (C₁ - C₄) - アルキル、N [(C₁ - C₄) - アルキル]₂、F、Cl、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は (C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R₄ は、F、Cl、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又は O - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良い；

請求項 1 に記載の式 I の化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項 3】

R₁、R₂ は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃ 又は OCH₃ であり；

n は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

m は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

V は、O 又は S であり；

Wは、結合又は $(C_1 - C_7)$ - アルキレンであり；

Xは、単環式、二環式又は三環式 $(C_3 - C_{12})$ - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環はR 4で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合又は $(C_1 - C_4)$ - アルキレンであり；そして、

R 4は、F、Cl、Br、CN、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル又はO - $(C_1 - C_4)$ - アルキルである；

請求項 1 又は 2 に記載の式 I の化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項 4】

R 1、R 2は、互いに独立に、 $(C_1 - C_6)$ - アルキル、O - $(C_1 - C_6)$ - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、 CF_3 、 OCF_3 又は OCH_3 であり；

nは、0であり；

mは、0であり；

Vは、O又はSであり；

Wは、結合又は $(C_1 - C_7)$ - アルキレンであり；そして、

Xは、単環式又は二環式 $(C_3 - C_{12})$ - シクロアルキル環であり；そして、

Yは、結合又は $(C_1 - C_4)$ - アルキレンである；

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の式 I の化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項 5】

調合薬として使用するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

1 つ又はそれ以上の請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む調合薬。

【請求項 7】

1 つ又はそれ以上の請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物、及び少なくとも 1 つの更なる活性成分を含む調合薬。

【請求項 8】

更なる活性成分として 1 つ又はそれ以上の抗糖尿病薬、血糖降下活性成分、HMG Co A還元酵素阻害剤、コレステロール吸収阻害剤、PPAR アゴニスト、PPAR アゴニスト、PPAR / アゴニスト、PPAR アゴニスト、フィブラート、MTP阻害剤、胆汁酸吸収阻害剤、CETP阻害剤、ポリマー性胆汁酸吸着体、LDL受容体誘導因子、ACAT阻害剤、抗酸化剤、リポタンパク質リパーゼ阻害剤、ATPクエン酸リアーゼ阻害剤、スクアレン合成酵素阻害剤、リポタンパク質 (a)アンタゴニスト、HM74A受容体アゴニスト、リパーゼ阻害剤、インスリン、スルホニル尿素、ビグアニド、メグリチニド、チアゾリジンジオン、 α -グルコシダーゼ阻害剤、細胞のATP依存性カリウムチャンネルに作用する活性成分、グリコーゲンホスホリラーゼ阻害剤、グルカゴン受容体アンタゴニスト、グルコキナーゼの活性化剤、糖新生の阻害剤、フルクトース - 1, 6 - ビスホスファターゼの阻害剤、グルコーストランスポーター 4 (GLUT 4) の調節剤、グルタミン - フルクトース - 6 - リン酸アミドトランスフェラーゼの阻害剤、ジペプチジルペプチダーゼ I V (DPP - I V) の阻害剤、11 - β - ヒドロキシステロイドデヒドロゲナーゼ 1 の阻害剤、タンパク質チロシンホスファターゼ 1 B の阻害剤、ナトリウム依存性グルコーストランスポーター 1 又は 2 の調節剤、ホルモン感受性リパーゼの阻害剤、アセチル - Co Aカルボキシラーゼの阻害剤、ホスホエノールピルビン酸カルボキシキナーゼの阻害剤、グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3 の阻害剤、プロテインキナーゼ C の阻害剤、エンドセリン A 受容体アンタゴニスト、I B キナーゼの阻害剤、グルココルチコイド受容体の調節剤、CARTアゴニスト、NPYアンタゴニスト、MC4アゴニスト、オレキシンアンタゴニスト、H3アゴニスト、TNFアゴニスト、CRFアンタゴニスト、CRF - BPアンタゴニスト、ウロコルチンアゴニスト、 δ 3アゴニスト、CB1受容体アンタゴニスト、MSH (メラニン細胞刺激ホルモン) アゴニスト、CCKアゴニスト、セロトニン再取り込み阻害剤、混合セロトニン作動性及びノルアドレナリン作動性化合物、5HTアゴニスト、ボンベシンアゴニスト、ガラニンアンタゴニスト、成長ホルモン、成長ホルモン放出化合物、TRHアゴニスト、脱共役タンパク質 2 又は 3 調節剤、レ

【請求項 9】

【請求項 10】

【請求項 1 1】

【請求項 1 2】

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 4

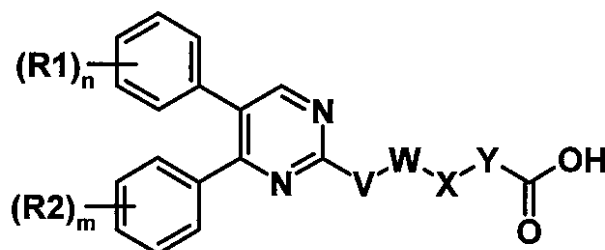
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 4 】

従って、本発明は、式 I :

【化 1】



I

R¹、R²は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N[(C₁ - C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；

n は、 0 、 1 、 2 、 3 、 4 又は 5 であり；

m は、 0、 1、 2、 3、 4 又は 5 であり；

V は、O、S、SO 又は SO₂ であり；

Wは、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は(C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R³で1回又はそれ以上置換されても良く；

X は、単環式、二環式又は三環式 (C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R⁴ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は(C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R³で1回又はそれ以上置換されても良く；

R³ は、NH₂、NH(C₁-C₄)-アルキル、N[(C₁-C₄)-アルキル]₂、F、

C1、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は(C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、C1、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R4は、F、C1、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又はO - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、C1、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い；

の化合物、及び生理学的に許容されるその塩に関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

好ましくは、式Iの化合物であって、1つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R1、R2は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N[(C₁ - C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、C1、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり、ここで、アルキルはF、C1、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；

nは、0、1、2、3、4又は5であり；

mは、0、1、2、3、4又は5であり；

Vは、O、S又はSOであり；

Wは、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は(C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R3で1回又はそれ以上置換されても良く；

Xは、単環式、二環式又は三環式(C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R4で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は(C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R3で1回又はそれ以上置換されても良く；

R3は、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N[(C₁ - C₄) - アルキル]₂、F、C1、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は(C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、C1、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R4は、F、C1、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又はO - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、C1、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

特に好ましくは、式Iの化合物であって、1つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R1、R2は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、OH、CN、F、C1、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり；

nは、0、1、2、3、4又は5であり；

mは、0、1、2、3、4又は5であり；

V は、O 又は S であり；

W は、結合又は (C₁ - C₇) - アルキレンであり；

X は、単環式、二環式又は三環式 (C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R 4 で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合又は (C₁ - C₄) - アルキレンであり；そして、

R 4 は、F、Cl、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又は O - (C₁ - C₄) - アルキルである；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

更に特に好ましくは、式 I の化合物であって、1 つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R 1、R 2 は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又は OCH₃であり；

n は 0 であり；

m は 0 であり；

V は、O 又は S であり；

W は、結合又は (C₁ - C₇) - アルキレンであり；

X は、単環式又は二環式 (C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり；そして、

Y は、結合又は (C₁ - C₄) - アルキレンである；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。